

防災・安全ニュース

VOL. 31

危機管理課

2025年11月号

電話：65-1282

日本は、四季から二季になるのではと言われる昨今ですが、秋の季語である鰯雲が拙文を書いている今日は綺麗に見えています。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・避難判断は最悪を想定
- ・生成AIを活用した詐欺の進化
- ・木枯らし1号？2号はあるのか？

避難判断は最悪を想定

今年の7月30日にカムチャツカ半島付近でマグニチュード8.8の巨大地震が発生し、北海道から沖縄の太平洋沿岸の広い範囲に津波警報、津波注意報が発表されたことは記憶に新しいと思います。この時の日本の最大津波高は1.3mで、甚大な被害は免れましたが、避難途中の方お一人がお亡くなりになりました。

この経験は**今後、津波警報が出ても大きな被害はないだろう、高い津波は来ないだろう、といった油断を招く恐れがあります。**

毎年11月5日は、皆さんご存じの「稲むらの火」に因んだ「津波防災の日」ですが、1952年の同日にもカムチャツカ半島の沖合で大きな地震があり、北海道から本州の太平洋側に最大3mの津波が発生し、約1,200軒の家屋浸水被害（内閣府防災のページより）を受けています。

津波に限らず**避難の判断は、最悪の事態を想定することが自らと大切な人の命を守ることに直結しますので、くれぐれも正常性バイアスの罠にはまらないようご注意ください。**

生成AIを活用した詐欺の進化

以前の電話やメールの詐欺では、声が違うとか、会話の内容が不自然だったり、日本語の変な言い回しや敬語の使い方から割と見破ることができました。しかし近年、AI技術を悪用した特殊詐欺が現れるようになってきて見破ることが難しくなりつつあります。

AIを使ったクローン音声では、映画「トップガン マーヴェリック」でアイスマン役を演じたバル・キルマー（咽頭がんで声を失っていた。）の2つのセリフがそれであることが有名です。そのクローン音声作成には、数年前まで作成の元となる音声データを15分～30分程度必要としていましたが、現在は数秒の元データだけで高品質なクローン音声ができるそうです。

カナダでは、母親に電話で娘を誘拐したと伝え、「助けて！」とクローン音声を聞かせて身代金を要求した事例（未遂）があります。

どんどん巧妙化する特殊詐欺ですが、**電話でお金を要求されたらまず詐欺を疑う必要があります。今や騙されるのは高齢者だけではありません**ので、十分ご注意ください。



木枯らし1号？2号はあるのか？

10月の最終週には、そろそろ木枯らし1号が吹きそうだというお天気報道がありました。

ではまず、木枯らし1号とは何かについてです。木枯らし1号は気象庁が発表しますが、**関東地方と近畿地方しか発表されず、それぞれの目安も次のとおり微妙に違います。**

【関東地方】

- 1 期間は10月半ばから11月末までの間に限る。
- 2 気圧配置が西高東低の冬型となって、季節風が吹くこと。
- 3 東京における風向が西北西～北である。
- 4 東京における最大風速が、おおむね風力5（風速8m/s）以上である。

【近畿地方】

- 1 期間・・・霜降(10月24日頃)～冬至(12月22日頃)まで。
- 2 気圧配置・・・西高東低の冬型の気圧配置。
- 3 風向・風速・・・北寄りの風が吹き、最大風速8m/s以上。

では、木枯らし2号、3号はあるのかということについては、1号以降にそれぞれの目安どおりの条件を満たすことがあっても、これまで気象庁から発表されたことはありません。

ちなみに春1番は、8つの地方でのみ発表され、こちらも発表の目安が地方ごとに微妙に違ってきます。

WEATHER COLUMN 第31回「木枯らし1号とは」

(航空自衛隊 航空支援集団 航空気象群)

→ <https://www.mod.go.jp/asdf/awsg/aboutawg/column/images/column031.pdf>

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

11月1日は、いろいろな記念日とされていますが、犬の鳴き声「ワン(1)、ワン(1)、ワン(1)」の語呂合わせで、「犬の日」としてペットフード工業会(制定当時)が制定しています。我が家では、多い時には4頭の犬を飼っていましたが、先月24日に15歳8か月で3頭目の犬が虹の橋を渡っていきました。最後の1頭は、仲間がみんないなくなって寂しそうにしていますが、犬の日には御馳走をして元気づけてあげようと思っています。(N.O)